



ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

1963年3月23日創立 週報2439号

第2730地区 鹿児島西ロータリークラブ

第2486回例会

1月はロータリー理解推進月間

平成26年1月15日

● 例会場 〒892-0828 鹿児島市金生町3番1号 山形屋1号館7階 社交室 毎週水曜日 12:30~13:30
● 事務所 〒892-0828 鹿児島市金生町3番1号 山形屋1号館9階 ☎223-5902・FAX 223-7507

会長 長柄 英男
幹事 坂木 貞剛
会報委員長 上之園正幸

本日の主要
プログラム

クラブフォーラム (広報・IT)

- (1) ロータリーソング (我等の生業)
- (2) 会長あいさつ
- (3) 会務報告
- (4) 出席報告
- (5) ニコニコBOX披露

会長挨拶 長柄 英男 私の生まれた町

皆様のお陰で、折り返し点を過ぎることが出来ました。あとは直前会長に向ってまっしぐらに行きたいと思いますが、登山でも旅行でも帰り道の事故や怪我が多いので気を引き締めて行きたいと思いません。会長はロータリーの話をしなくてはならないことになっていますが、今回から少しずつ違った話題を選びたいと思いますのでお許しを頂きたいと思いません。

まず最初は、私の生まれた町の話であります。平成の市町村合併によって、現在の地名では京都府木津川市加茂町例弊であります、私が生まれた昭和23年には京都府相楽郡瓶原(みかのはら)村です。

瓶原村は聖武天皇が藤原広嗣の乱などの政争を避けるために740年に平城京から遷都した地として知られています。744年には難波宮に遷都が行われ恭仁京の都としての期間は足掛け5年と短いものでした。その間、天平13年(741)には国分寺・国分尼寺建立の詔、天平15年(743)には大仏造立の詔、墾田永年私財法の発布があり、歴史上極めて重要な時期であったといえます。

恭仁宮跡には山城国分寺が造営されました。今も木津川市立恭仁小学校の近くには恭仁京の大極殿跡や山城国分寺の七重塔の礎石などが国の史跡に指定されて残っています。

万葉集にもいくつもこの地を詠んだ歌が知られていますが、瓶原(みかのはら)、その真ん中を流れる泉川(いづみがわ、木津川)は景勝の地として知られるようになり、歌枕として有名になって行きます。百人一首には新古今和歌集の藤原兼輔のうたが採用され

ています。

「みかのはらわきて流るる泉川いつ見きとてか恋しかるらん」

【歌意】瓶原(みかのはら)を二つに分かれて湧き出る泉川の「いつみ」ではないけれど、いつあの人に逢ったというのでこんなに恋しく思われるのでしょうか。

最近の発見は清少納言の枕草子で、おそらくは誰も読んだ事のない16段にも出て来ていたのです。

「原は、みかの原。あしたの原。その原。」

これで分かったのは、清少納言の時代、つまり平安中期にも景勝地として有名であったと言う事で、いまも山紫水明の田舎町です。

これで私の故郷の蘊蓄は紙面の関係上終わりです。



◇前回の例会(1月9日)の報告

会員数	77 (74) 名
出席数	48 名
出席率	64.86 %

◇前々回の例会(12月25日)の訂正

出席率	61.64 %
訂正出席数	58 名
訂正出席率	79.45 %

前回の例会記録（1月9日分）

（プログラム）鹿児島市内ロータリークラブ新春合同例会
12:30～ サンロイヤルホテル

（ゲスト）

鹿児島市長 森 博幸様
第2730地区ガバナー 大迫 三郎様

○出席数418名中285名(68.18%)

祝 辞

国際ロータリー第2730地区
ガバナー 大迫 三郎



新年明けましておめでとうございます。

輝かしい伝統と力強い実績を重ねて、素晴らしい活動を展開して居られます鹿児島市内分區10クラブの皆様の合同例会の開催に心からの祝福と敬意を申し上げます。

当地域は私共の第2730地区のリーダー的存在としてロータリーの発展に寄与され、会員お一人、お一人も地域を代表する職業人として又リーダーとして地域の発展に寄与されて居りますこと誠に尊敬の至りでございます。

近代日本の維新から戦中・戦後に至る厳しい世代を立派な数多くのリーダーの大先達が活躍された今日鹿児島薩摩の力強い伝統が脈々とこの地域のロータリーに生きている事、誠に感慨深く崇拝を致しております。

国際ロータリーが創設されたのが1905年ですが、その前年日本はロシアに宣戦布告、日露戦争。203高地激戦や日本海海戦など、大山巖、東郷平八郎などの世界に冠たる戦略知勇のもとに一応戦勝しました。1905年日露講和会議がポーツマスで開催されて居り、ロータリーの創設の時と日本の状況、とりわけ鹿児島の歴史的背景には感慨深いものがあります。日本の歴史にとっても鹿児島はその影響の深さが伺えますし、誠に数多くの史実を有しているのであります。

その様な背景の中で創立したロータリーの中核的価値観は、奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップであります。そしてロータリーの基本的な存在基盤である職業奉仕、いわゆる仕事を通じて家族は勿論、従業員、お客様の幸せを願ひ、地域社会や国家そして世界、更には青少年の育成に尽くして行く目的を私達は共有して居ります。職業を通じて社会に貢献する意義は人類にとって一番の尊い価値であります。その事をロータリーは追究しているのであります。幸い今日お集まりの皆様はまさに尊い職業を通じてリーダーシップを発揮されて居ります。更に素晴らしい力を発揮されそのパワーでこの市内地域の皆さんのご尽力で新しいクラブの創設に力を発揮して戴ける事を新年にあたり期待いたします。そして職業奉仕を通じて地域の発展と世界平和を願うロータリアンを増やして行くではありませんか。薩摩隼人の心意気に満腔の期待を申し上げ、お祝いの言葉といたします。

会長挨拶

鹿児島西ロータリークラブ
会長長 柄 英 男



明けましておめでとうございます。会員の皆様には新しい年をご家族とともに目出度くお迎えのこととお喜び申し上げます。今日は森博幸・鹿児島市長、大迫三郎・国際ロータリー2730地区ガバナーを迎え鹿児島市内クラブの新春合同例会が開催されました。私はお世話の当番にあたっております、鹿児島西ロータリークラブの長柄でございます。

昨年7月以来、国際ロータリーはロン・パットン会長の「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」のテーマの許に、中核的価値観と呼ばれる 奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップの実践に努めて参りました。1979年からロータリーが参画をいたしましたポリオ撲滅の運動は成果を上げ、いまや新しい麻痺性のポリオの発生は3カ国だけになりました。そして間もなく地球上からポリオは無くなると予測されており大変な成果を挙げようといったしております。また最近ではフィリピンの台風による災害には此所におられる会員一人一人がすでに募金をして頂いております。そしてロータリーのパートナーである「シェルターボックス」を通じて4000世帯に既に救援物資を送りました。

私たちの2730地区では、本日も臨席を賜っております大迫三郎ガバナーの指導の許に活動を行って参りました。地区大会では職業奉仕の実践報告を感銘深く聞くことができ、自分自身の職業の将来や地域の振興に自信が持てるようになった会員の方もたくさんおられるのではないかと思います。

社会全体を振り返ってみますと昨年はオリンピック、パラリンピックの東京開催が決まる。富士山が世界遺産に登録される。またアベノミクスによって経済が好転するなど明るいニュースに恵まれました。また「今年の漢字」には「輪」が選ばれ、オリンピックのほか大勢の人が手をつないで輪になる、平和の和にも通じると言われております。

一方では、食品の偽装事件が多発し、有名レストランやホテルの表示の偽りは私たちを失望させました。身近で起こった選挙違反事件、さらに周辺各国と日本の平和への脅威などは深刻さを増しているように思えます。

このような世相の中でこそ、ロータリーの4つのテストを思い出さずに入られません。1、真実かどうか。2、みんなに公平か。3、好意と友情を深めるか。4、みんなのためになるかどうか

4つのテストを実践していれば、昨年起こったすべての問題はたちまちのうちに解決してまいります。

そして、私はやはりロータリーの精神、スピリッツをひろめなければならぬと痛感するのであります。どうぞ皆さん会員の増強にもご尽力を頂きますようお願い申し上げます。

多少強引な、我田引水もありましたが、新年のご挨拶とさせていただきます。有り難うございました。

次週予告

1月22日(水) 12:30～ 山形屋
クラブ協議会(上期報告・下期計画)